とやま市議会だより

TOYAMA CITY ASSEMBLY

No.92

令和８年　９月定例会

ウェブ速報版

ホームページ　https://www.city.toyama.lg.jp/

メールアドレス　gijityousa-01@city.toyama.lg.jp

詳しい情報は、
ホームページをご覧ください。

富山市議会　検索

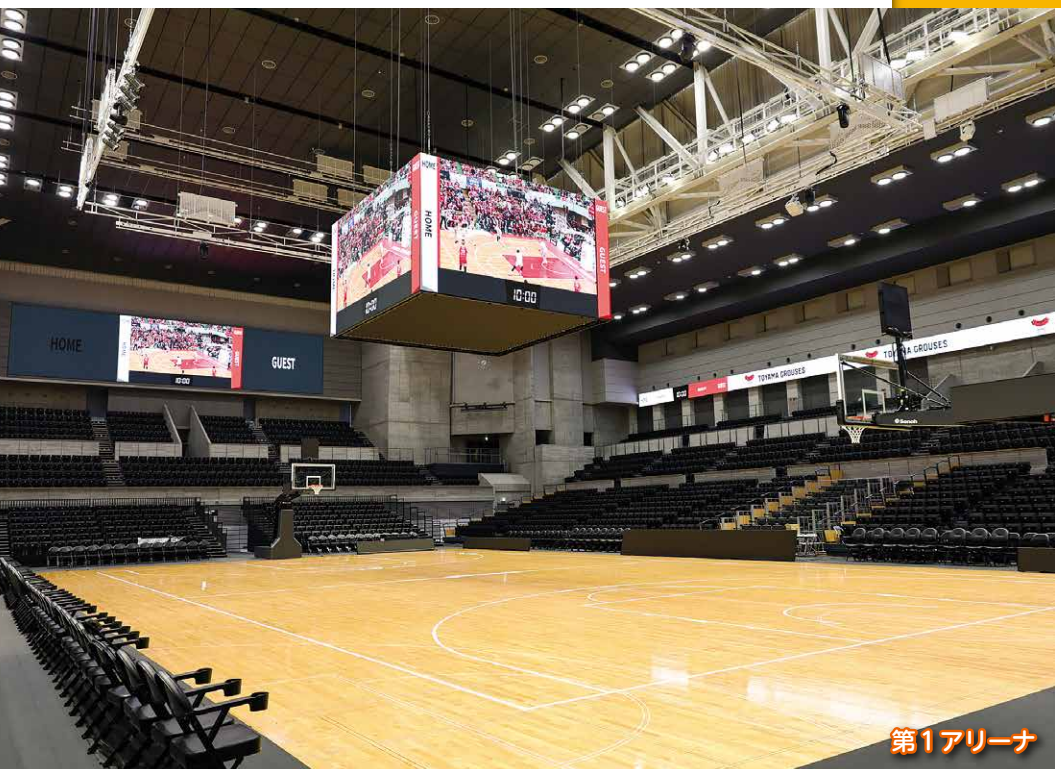
富山市議会
ホームページ



富山市PRキャラクター　やまやま

主な内容

９月定例会の概要、可決した主な議案等 …… 2
会派別賛否一覧、委員会・諸会議 …… 3
常任委員会 …… 4
一般質問 …… 6
決算審査等 …… １０
１２月定例会の予定等 …… １１
行政視察報告 …… １２



第１アリーナ



ラウンジカフェ



特別観覧室



第２アリーナ



弓道練習場



フィットネスルーム

総合体育館が「ＹＫＫ　ＡＰアリーナ」として生まれ変わりました！

ＹＫＫ　ＡＰアリーナ
ホームページ

令和８年９月定例会の概要

３１億1,７８３万余円の補正予算等を可決

令和８年９月富山市議会定例会は、９月４日から９月３０日まで２７日間の会期で開かれました。
令和８年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて２９議案が原案のとおり決まりました。
また、令和７年度の決算関連議案については、予算決算委員会に付託し、１２月定例会までの期限を付けた閉会中の継続審査とすることになりました。

定例会の日程

９月　４日	本会議（提案理由説明ほか）
９月１０日	本会議（一般質問）　　６人
９月１１日	本会議（一般質問）　　６人
９月１５日	本会議（一般質問）　　７人
９月１６日	本会議（一般質問ほか）　６人 予算決算委員会（前期全体会）
９月１７日	予算決算委員会分科会（経済教育）・経済教育委員会
９月１８日	予算決算委員会分科会（厚生）　・厚生委員会
９月２４日	予算決算委員会分科会（建設）　・建設委員会
９月２５日	予算決算委員会分科会（総務環境）・総務環境委員会
９月２８日	予算決算委員会（後期全体会）
９月３０日	本会議（委員長報告・討論・採決ほか）



委員長報告の様子

令和８年度予算の９月補正の規模　（円）

	補正前	９月補正額	補正後
一般会計	2,005億　166万9千	27億4,971万8千	2,032億5,138万7千
特別会計	1,537億　719万2千	3億6,811万9千	1,540億7,531万1千
企業会計	514億　187万8千	0	514億　187万8千
合　計	4,056億1,073万9千	31億1,783万7千	4,087億2,857万6千

可決した主な議案

■予算案件

○８年度富山市一般会計補正予算　**２７億４,９７１万８千円**

- 公共交通活性化事業基金積立金　１７億１,６２１万４千円
- ８年８月大雨被害に伴う災害測量設計業務委託料等　３億１,０５０万　円
- 生活バス路線維持費補助金　５,９８６万６千円
- 富山地方鉄道不二越・上滝線道路交通影響調査業務委託料　２,０００万　円
- げんさんの坂公衆トイレ改築工事　１,８９２万４千円
- （仮称）とやまくすりミュージアム基本設計業務委託料　１,４８５万　円
- 学校給食非喫食者補助金　９８０万１千円

○８年度富山市特別会計補正予算（２会計）　**３億６,８１１万９千円**

■条例案件

○富山市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件

■契約案件

○委託契約締結の件

- 富山市指定収集袋製造業務委託
- 小・中学校体育館空調整備業務委託

○工事請負契約締結の件

- 旧八人町小学校・幼稚園解体工事

○特定事業契約締結の件

- （仮称）とやまくすりミュージアム整備・運営事業



改築のため解体されたげんさんの坂公衆トイレ

意見書

次の意見書を可決し、国会および関係行政庁などへ提出しました。

意見書とは、市の公益に関することについて議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

飲食料品に係る消費税率の時限的な引き下げに対する意見書（議員提出議案第１０号）	財務大臣　他８件へ提出
生産コストを反映した米価形成と農業者の経営安定を求める意見書（議員提出議案第１１号）	農林水産大臣　他６件へ提出
「防災庁」発足を見据えた地方自治体との連携強化及び防災体制の抜本的強化を求める意見書（議員提出議案第１２号）	内閣府特命担当大臣（防災）他５件へ提出

議案・意見書の会派別賛否一覧

賛否が分かれた議案等については、次のとおりです。
表中の見方：「○」＝賛成　「×」＝反対　※会派人数は、議長を除いたもの。

件名		議決結果	富山市議会自由民主党（15人）	自由民主党（4人）	公明党（4人）	立憲民主党（3人）	会派誠政（2人）	政策・維新32（2人）	日本共産党（1人）	太政（1人）	政風会（1人）	気魄（1人）	未来をつくる（1人）	みどり（1人）	参政党議員会（1人）
議案第156号	令和8年度富山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○
議案第174号	特定事業契約締結の件（（仮称）とやまくすりミュージアム整備・運営事業）	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○
議案第175号	公共施設等運営権の設定の件（富山市まちなかアリーナ）	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議案第183号	委託契約締結の件（富山市指定収集袋製造業務委託）	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議員提出議案第10号	飲食料品に係る消費税率の時限的な引き下げに対する意見書	原案可決	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第11号	生産コストを反映した米価形成と農業者の経営安定を求める意見書	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第13号	働く者の声を尊重した労働時間法制の実現とＩＬＯ三者構成原則の堅持を求める意見書	否決	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	×
議員提出議案第14号	被選挙権年齢の引き下げ等、若い世代の政治参加の拡大を求める意見書	否決	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×
議員提出議案第15号	衆議院の比例代表選出議員の定数削減を強行しないよう求める意見書	否決	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	○	○

全ての議案に対する議員個人ごとの賛否の一覧表を富山市議会ホームページに掲載しています。
また、本会議で討論があったものについて、一覧表の中にその要旨も掲載しています。▶

委員会・諸会議

定例会中の本会議や常任委員会のほかにも委員会等を開催し、
市政についての課題等を協議しています。

日付	委員会等	協議事項等
8月 4日	議会運営委員会	• ９月定例会の運営　• 議員席のマイク廃止による議会運営の見直し
	各派代表者会議	• 議会改革検討調査会の在り方
8月10日	厚生委員会	• 富山市保育施設の再編及び民営化に関する基本方針（案）
8月28日	議案説明会	• ９月定例会提出予定案件の概要
	議員協議会	• 第３次富山市総合計画（案）の概要　• 富山地方鉄道鉄道線再構築事業
9月 4日	各派代表者会議	• 議会改革検討調査会の在り方　• 人事案件
	議会報編集委員会	• とやま市議会だより（Ｎｏ．９２）
9月 7日	議会運営委員会	• ９月定例会の運営　• 議員席のマイク廃止による議会運営の見直し
9月11日	議会運営委員会	• 追加議案
9月15日	委員長会議	• 議案等の委員会付託
9月24日	議会運営委員会	• 意見書・決議　• 議会運営に関する申合せ事項の変更および富山市議会予算決算委員会運営要綱の一部改正　• 議員派遣の件　• 本会議の進め方　• 委員会視察
9月28日	各派代表者会議	• 議会改革検討調査会の在り方
9月29日	議員協議会	• 本市の令和７年国勢調査の確定値
9月30日	委員長会議	• 委員会審査結果等の確認　• 決算関連議案等の委員会付託
	予算決算委員会（前期全体会）	• 決算概要等説明　• 決算関連議案の分科会送付
	議会改革検討調査会	• 正・副座長の互選　• 富山市議会改革検討調査会規程の一部改正
10月 7日	議会報編集委員会	• とやま市議会だより（Ｎｏ．９２）

（10月７日現在）

常任委員会（予算決算委員会）

５つの常任委員会において、付託された議案などを審査し、９月３０日の本会議では、各委員会の審査の概要と結果が報告されました（各分科会の報告は９月２８日の予算決算委員会）。本紙では、その内容の一部を掲載します。

予算決算委員会

８年度富山市一般会計補正予算など５件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

総務環境分科会

８年度富山市一般会計補正予算２件について、審査した。

厚生分科会

８年度富山市一般会計補正予算など２件について、審査した。

いきいきスポーツライフ事業費

委員　ランニングコミュニティによる出会い推進事業について、ランニングコミュニティーを新たに立ち上げ、スポーツを通じた自然な出会いの場の創出につなげるとのことだが、ランニングを選択した理由は何か。また、他の地域や施設での先進事例はあるのか。

市　まず、ランニングを選択した理由については、本年１０月にオープンするＹＫＫ　ＡＰアリーナには全国からランニングコースのメッカとして選ばれている富岩運河環水公園が隣接していること、加えてＹＫＫ　ＡＰアリーナに新たに設けられる交流スペースのラウンジの有効活用が挙げられる。

次に、先進事例については、北海道日本ハムファイターズが本拠地としているエスコンフィールド北海道で立ち上げられたランニングコミュニティーがある。そのコミュニティーでは、朝ランとサウナ、クラフトビール等を組み合わせた交流イベントを開催しており、実際に参加者が本交流イベントをきっかけに結婚されたということも聞いている。

委員　本事業の成果の検証はどのようにして行うのか。

市　本事業は国の交付金を活用することから、成果を測るための目標指標を設定している。まず、定量的な評価の指標としては、ランニングコミュニティーイベントの参加者数が考えられる。次に、定性的な評価の指標としては、例えば、参加者へのアンケート調査によるコミュニティーの満足度等を測ることを考えている。これらの指標を合わせて評価することで、本事業を検証していきたいと考えている。

経済教育分科会

８年度富山市一般会計補正予算など３件について、審査した。

学校保健事務費

委員　学校給食非喫食者補助事業について、食物アレルギー等のある、なしにかかわらず、児童生徒が同じ場所で同じ学校給食を食べられることが、目指すべき姿であるが、今後、アレルギー対応の学校給食の提供について考えているのか。

市　学校給食での食物アレルギー等への対応において、最優先すべき事項は安全性であると考えている。

本市の学校給食においては、同じものを提供するのか、提供しないのかの、二者択一を基本とした上での段階的な対応を行っており、現在、除去食については鶏卵のみ対応しているところである。

国や県の指針においても、安全性の確保のためには、多段階の除去食や代替食の提供等の複雑な対応はできるだけ行わず、調理場の規模、能力に応じた対応が求められている。

本市においては、全員が同じ学校給食を食べられるような対応については、難しい課題があるものと考えているが、食物アレルギー等がある児童生徒であっても、学校給食を食べられるよう、献立にはできるだけ工夫をしているところである。

建設分科会

８年度富山市一般会計補正予算など３件について、審査した。

８年度富山市水道事業会計補正予算

委員　流杉浄水場の運転管理業務委託について、業務委託の前後では、運転管理に従事する市職員数および本業務における受託業者の人員は何名か。

市　流杉浄水場の運転管理業務委託は平成２１年度から行っており、委託前の平成２０年度の流杉浄水場の市職員数は２４名で、そのうち運転管理業務を行う職員は１２名である。

また、８年度の流杉浄水場の市職員数は１１名で、運転管理業務委託の受託業者の人員数は１２名となっており、常時運転管理に従事する実質的な人数は変わっていない。

委員　流杉浄水場の運転管理業務委託について、水質検査などの業務内容の見直しにより、業務委託料が８４８万円減少したとのことだが、具体的にはどのような見直しを行ったのか。

市　これまでは、水質検査の補助業務として、分析に必要な試薬の作成や検査器具の準備、洗浄等を委託業務としていたが、８年度から配置換えをし、水質検査を担当する職員を１名増員したことに加えて、分析に係る精密機器を計画的に導入することで水質検査体制の確立や検査作業の効率化が図れることから、人員を含めて作業を合理化、迅速化し、委託業務を削減する見直しを行った。



流杉浄水場

常任委員会
（部門別常任委員会）

総務環境委員会



富山市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件など２件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

厚生委員会



富山市保健所条例の一部を改正する条例制定の件など１１件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】
○福祉保健部
・富山市手数料条例の一部を改正する条例制定の件
・高齢者インフルエンザ予防接種における高用量インフルエンザワクチンの使用中止
・富山市・医師会急患センターにおける手数料の誤徴収
○こども家庭部
・富山市保育施設の再編及び民営化に関する基本方針
○市民生活部
・ＹＫＫ　ＡＰアリーナのオープン

経済教育委員会



工事請負契約締結の件（熊野小学校長寿命化改良（その２）工事）など５件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】
○商工労働部
・富山市融資制度における融資利率の改定

建設委員会



富山市公共交通活性化事業基金条例制定の件など２件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】
○上下水道局
・令和８年熊本地震における上下水道局による災害支援活動
○建設部
・神通大橋（上流側）架替事業
○活力都市創造部
・市所有車両の定期点検の未実施

４ページから５ページの報告の内容（質疑、討論、意見の表明を含む）につきましては、富山市議会ホームページ「会議録等の公開」からご覧いただけます。

◀委員会等の審査の概要と結果

正副議長および各委員会委員の構成につきましては、富山市議会ホームページ「議員、委員名簿」からご覧いただけます。

◀正副議長および各委員会の委員

一般質問

２５人の議員が一般質問を行いました。その中から一部の質問・答弁の要旨をお知らせします。
議員名の横の二次元コードを読み込むと、インターネットで一般質問の様子を閲覧できます。

中心商店街エリアにおける新たな「官民連携まちづくりの体制構築」

高田　重信（富山市議会自由民主党）



問 **新たに設立されたプラットフォームを核とし、今後どのようにエリアビジョンを策定し具現化していく方針なのか。**

答 本プラットフォームは、当該エリアの未来ビジョンを策定し、その実現に向けた取り組みを推進する体制を整える趣旨で設立された。今後ビジョンの骨子や具体的な方向性、施策の実施体制等について検討を進め、プラットフォームにて合意形成が図られる予定である。参画する多様な主体の役割等を示し、実行につなげるため、関係者と連携を図りながら具現化が進むよう後押ししていきたい。（活力都市創造部長）

【質問項目】
▼第３次富山市総合計画（案）　▼ＧＩＧＡスクール構想の取り組み
▼富山市ＤＸ推進計画に基づく生成ＡＩ活用の現状と将来への展望
▼中心商店街エリアにおける新たな「官民連携まちづくりの体制構築」
▼株式会社富山市民プラザのまちづくり活動　▼令和７年国勢調査

近年の社会経済情勢を踏まえた財政運営

松井　邦人（富山市議会自由民主党）



問 **市長をはじめ職員一人ひとりが都市経営の視点を持って予算の選択と集中を徹底すべきと考えるが、見解は。**

答 人口減少、少子高齢化の進行により、独自の施策を推進するための財源の減少が懸念されることから、予算編成に携わる全ての者が財政運営に対して高い意識を持つ必要がある。本市の２０、３０年後を見据え、社会情勢や費用対効果などから多角的に検討を行った上で、既存事業を絶えず見直し、優先順位を見極め、限られた財源を真に必要な施策に重点的、効率的に配分することを強く意識していきたい。　（市長）

【質問項目】
▼新たな副市長の就任　▼（仮称）とやまくすりミュージアム
▼令和７年度一般会計の決算　▼近年の社会経済情勢を踏まえた財政運営

公共施設等の使用料減免の見直しと公益的な市民活動

金岡　貴裕（自由民主党）



問 **ボランティアなど公益性の高い市民活動について、活動の継続に支障が生じないよう、市による実態を踏まえた支援が必要と考えるが、見解は。**

答 公の施設の使用料の適正化に関する基本方針は、後援を理由とする減免を行わないこととしたものであり、ボランティアによる自主的な活動を市として支援しないという趣旨ではない。こうした活動の意義を十分に尊重し、その継続をしっかりと支えていくことは市としても重要なことであるため、適切な支援の在り方を十分検討していく必要があるものと考えている。（市長）

【質問項目】
▼重症心身障害児、医療的ケア児とその家族を支える受け皿
▼県立高校再編と本市における高校配置
▼公共施設等の使用料減免の見直しと公益的な市民活動

県立高校再編

横野　昭（富山市議会自由民主党）



問 **坪野川の溢水（いっすい）に苦労している地域住民のため、富山西高校のラグビーグラウンドに跡地利用として調整池を造ることを県へ要望するべきと考えるが、見解は。**

答 調整池の整備は坪野川沿岸の浸水被害の軽減に有効な対策の一つであると認識しているが、第一義的に河川管理者である県が判断することが肝要であると考えている。坪野川における洪水対策としての改修事業は、これまでも本市の重点事業に位置付け、国・県に対し、その促進について格段の配慮をお願いしており、引き続き、提案内容も含め、要望していきたい。（市長）

【質問項目】
▼令和８年熊本地震における本市の対応　▼県立高校再編
▼中山間地の記録的短時間大雨による被害　▼職員のハラスメント
▼義務教育学校水橋学園　▼企業誘致の現状と課題

空き家への取り組み

細川　博徳（公明党）



問 **空き家実態把握調査の結果から分かる課題を踏まえ、今後どのように対策を進めるのか。**

答 今年４月から住宅政策課内に「空き家対策推進班」を設置し体制の強化を図るとともに、現在、学識経験者や法務・不動産等の関係団体で構成する「富山市空家等対策推進協議会」において、来年度からスタートする「第２次富山市空家等対策計画」の策定を行っている。今後の空き家対策の方向性や施策などについて検討し、実行性の高い計画となるよう策定作業を進めていきたい。　（活力都市創造部長）

【質問項目】
▼第３次富山市総合計画（案）　▼外国人住民とのさらなる共生都市
▼空き家への取り組み　▼本市の除雪体制

「とやまの種もみ」ブランド

織田　伸一（富山市議会自由民主党）



問 **関係機関とタッグを組み、新規就農者等に向けて「種子農家になりませんか」といった新たな就農・定着パッケージ事業を立ち上げるべきと考えるが、市長の見解は。**

答 種もみに着目して就農者の確保を図ることは、これまでにない新たな視点であり共感する。私自ら、「種もみ王国とやま」で作られた付加価値の高い富山市産米や種もみに関する発信を強化するなど、関係機関の意見も参考にしながら農業者の確保に努め、種もみの一大産地を将来にわたって守っていきたい。　（市長）

【質問項目】
▼「とやまの種もみ」ブランド　▼遊休農地
▼学校給食の非喫食者に対する補助事業　▼クマ対策

本市におけるフードバンクとフードドライブの状況

東　篤（立憲民主党）



問 **市、社会福祉協議会およびＮＰＯ法人が連携し実施している前橋市のフードバンク事業の事例を参考に、本市でも生活困窮者への食料支援事業を実施しては。**

答 本市では、包括的な相談支援を行う自立相談支援事業を富山市社会福祉協議会に委託しており、同協議会はこの事業の実施に合わせ、フードドライブ団体等と協力した食料支援や専門職員による相談会を行っている。そのため、新たな食料支援事業の実施は考えていないが、前橋市の先進事例を本市社会福祉協議会に情報提供し、今後の参考とさせていただく。（福祉保健部長）

【質問項目】
▼本市におけるフードバンクとフードドライブの状況
▼ケースワーカーの勤務状況　▼本市職員の育児休業の取得状況



昨年度開催されたフードパントリー＆相談会の準備の様子

男女を問わず誰もが安全で快適にトイレを利用できる環境

髙田　真里（富山市議会自由民主党）



問 **トイレの混雑や行列の解消に向けて、混雑が見込まれる施設では、案内表示の工夫により男性用を女性用に一時的に転用するなどの対応をしてはどうか。**

答 本市では、オーバード・ホール大ホールにおいて女性の観客が多数見込まれるイベントを開催する際に、男性用トイレの表示を切り替えて女性用トイレを増やし、行列の緩和に努めている。こうした取り組みにより一定の効果が見られることから、他の施設での導入を検討するなど、今後とも施設やイベントの特性に応じた効果的な対策を講じていきたい。　（市民生活部長）

【質問項目】
▼本市の業務における情報インシデントへの対応と重大事故を防止する仕組みの構築　▼頼れる身寄りがなくても安心して暮らせる富山市
▼医療的ケア児とその家族への支援
▼男女を問わず誰もが安全で快適にトイレを利用できる環境

人口減少時代における投資判断と財政規律

藤田　克樹（自由民主党）



問 **今後も人口減少が見込まれる中、公共施設や社会インフラへの投資について、地域の人口規模だけでなく、地域特性を踏まえ、市民生活に必要な機能を維持できるよう、予算を配分していくべきと考えるが、市長の見解は。**

答 合併以来、市全域を見渡した予算配分を心掛けてきた。中心市街地だけでなく、川上から川下まで、郊外、中山間地域など広い市域を守っていくため、財政規律を保った上で、市民に寄り添い、未来に希望の持てる予算編成に取り組んでいきたい。　（市長）

【質問項目】
▼人口減少時代における投資判断と財政規律

小泉　八雲の妻のドラマ「ばけばけ」の効果

豊岡　達郎（富山市議会自由民主党）



問 **本市にとって、昨年度放送されたドラマの効果はあったのか。**

答 ドラマの関連番組では「旧馬場家住宅」が紹介された。馬場家９代当主の妻　はるは、小泉　八雲の蔵書と手書き原稿から成る「ヘルン文庫」を旧制富山高等学校に寄付したことでも知られている。「旧馬場家住宅」の７年度の入館者数は６年度から約１．５倍に増加し、特に関連番組が放送された１２月以降は前年度同期比で約１．７倍となった。少なからず八雲と関連のあることが、来館の動機の一つとなっていると考えられる。　（教育委員会事務局長）

【質問項目】
▼液状化対策　▼中心市街地活性化基本計画　▼富山市緑の基本計画
▼ガストロノミーツーリズム　▼神通川の天然アユ
▼小泉　八雲の妻のドラマ「ばけばけ」の効果

南富山駅周辺における景観エリアリノベーション事業

舎川　智也（富山市議会自由民主党）



問 **この事業を通じ、南富山駅周辺にどのような新しい価値を加えていきたいか。また、モデル都市として、全国にどのような景観再生の姿を示していきたいか。**

答 景観エリアリノベーション事業は地域住民と連携し良好な景観を形成することで、まちの魅力と活力を向上させ地域の持続性を高めていく取り組みである。これまでにない魅力的な店舗や新たな交流の場が生まれ、まちの個性に磨きがかかることで、エリア全体で新たな価値が創出されることを期待している。景観と調和した地域が再び活力を取り戻す姿を全国に示したい。（市長）

【質問項目】
▼南富山駅周辺における景観エリアリノベーション事業
▼公共工事における建設残土の有効利用　▼成年後見制度利用支援事業

水泳授業

橋本　雅雄（会派　誠政）



問 **民間プール等を利活用することのメリット、デメリットについて、また、それらを踏まえた今後の小中学校における水泳授業の方針について、見解は。**

答 民間プール等、室内プールの利活用は熱中症のリスク等の回避、水温や水質が管理された環境での入水等のメリットがある一方、移動手段の確保、往復の移動時間、スケジュールの調整が必要等のデメリットがある。今後、民間プール等の活用のほか、学校プールの拠点化による複数校での利用等、最適な環境整備について、慎重に検討していきたい。（教育委員会事務局長）

【質問項目】
▼部活動の地域展開　▼水泳授業

家庭ごみ有料化制度

金井　毅俊（政策・維新３２）



問 **住民説明会に参加しない市民や日本のごみ出しルールに不慣れな在留外国人に対し、本制度をどう周知するのか。**

答 住民説明会以外にも各町内会等への出前講座の実施、広報とやまや市ホームページ等での情報発信に加え、ＳＮＳでの制度説明動画の配信、ごみ分別促進アプリ「さんあ～る」による情報提供等で周知啓発を図る。また、７カ国語に翻訳した「ごみと資源物の分け方・出し方」のチラシ配布や新たに入国された外国人技能実習生を対象にした出前講座を実施しており、引き続き、丁寧に制度周知を図る。（市長）

【質問項目】
▼地域医療体制確保加算２　▼夏休みの学校プールの開放
▼家庭ごみ有料化制度

高齢者、障害者が安心して暮らし、社会参加できる環境づくり

松井　桂将（公明党）



問 **本市における農福連携の取り組みおよび農業者と障害福祉事業所とのマッチングや、作業内容の調整、障害特性に応じた仕事の切り出しへの支援は。**

答 本市では、県と共催での農福連携セミナーの開催や農福連携コーディネーターの紹介およびそれを通じた仕事の切り出し、双方のマッチング支援などを実施している。なお、本年３月末時点で、農業者が障害者を雇用する形態では４経営体、福祉事業所が農業参入する形態では９法人、農作業を請け負う形態では２４法人が農福連携に取り組んでいる。（農林水産部長）

【質問項目】
▼水道インフラの老朽化対策と予防保全
▼高齢者、障害者が安心して暮らし、社会参加できる環境づくり

地域要望と予算編成

久保　大憲（自由民主党）



問 **予算編成には、政治的判断の余地が必要であり、市長が地域の要望を踏まえた上で総合的な判断ができるよう、要望の有無やその概要、要望提出者について、できるだけ資料等に明記すべきと考えるが、見解は。**

答 提出された要望は、原則として、市長や関係部局に直接届くようになっている。予算要求の資料等に要望の有無等を記載することは考えていないが、今後も予算協議の場において情報共有するとともに、地域の声に耳を傾け、限られた財源を重点的、効率的に配分することを意識した予算編成をしていきたい。（財務部長）

【質問項目】
▼地域要望と予算編成　▼電子回覧板の伴走支援
▼公共下水道事業と農業集落排水事業　▼土木・建築職の採用と離職防止
▼職員のキャリア形成

医療的ケア児・者への支援

柏　佳枝（公明党）



問 **医療的ケアに対応できる生活介護事業所が不足し、そのため自宅に引きこもらざるを得ないケースがあると聞くが、生活介護に対する現状および今後の取り組みについてどう考えるか。**

答 一部の利用者について、家族による送迎が必要、希望する日時での受け入れが困難などの理由で希望の生活介護事業所を利用できない事例があったと聞いている。今後、生活介護サービスの利用実態等の調査を検討し、本人・家族への支援について、他都市の事例を収集するなど調査・研究していきたい。（福祉保健部長）

【質問項目】
▼子どもの読書活動推進と学校司書の配置の充実
▼医療的ケア児・者への支援

農家が直面する課題への取り組み

江西　照康（自由民主党）



問 **米価下落に伴い、市の方針で農地の集約化を進めている大規模農業者の経営が悪化することで、農地の管理等に影響が及ぶことが考えられるが、対策は。**

答 市は担い手の経営基盤の強化が図られるよう集積・集約化等を促してきた。一方、担い手の収入減少を補填（ほてん）する国の制度は、経営に与える影響の緩和に一定の役割を果たし、ひいては農地等を守ることにつながっていると考えている。今後も国の動向を注視し、制度の周知に努める。また地域計画の見直しの際は地元の意見等を丁寧に伺い、状況を把握したい。（副市長）

【質問項目】
▼こどもまんなか社会と保育施設への入所
▼農家が直面する課題への取り組み

学校における児童生徒の人権に関わる不適切な指導への対応

村上　和久（太政）



問 校長をはじめとする教職員に対し、児童生徒の人権尊重に関する研修および指導を、今後どのように徹底するのか。

答 市教育委員会では、教員自身の人権感覚や意識の向上を図る研修等を行っており、各学校では、日常の教育活動における教員の指導の状況を管理職が確認し、必要に応じ助言等をしている。加えて、定例校園長会等の研修において、服務上の義務である法令順守や信用失墜行為の禁止などの徹底を行っている。今後も個々の教職員の資質能力の向上と、相互に人権意識を高め合う職場環境の構築を図っていく。（教育長）

【質問項目】
▼鉄道事業再構築事業　▼子どもの人権　▼家庭ごみ有料化

空き家対策

市田　龍一（政風会）



問 空き家が多い地区等を対象に「モデル地区」を設定し、総合的かつ集中的な空き家対策を実施してはどうか。

答 これまでの調査では、市全域で空き家の増加が顕著で、その多くがまちなかや公共交通沿線エリアとなっており、引き続き空き家対策を進める必要がある。とりわけ、空き家の密度が高いエリアでは、既成市街地の再構築を促進するため、面的な視点で集中的に対策を実施することが有効である。「第２次空家等対策計画」の策定を進める中で、対象エリアの設定や取り組み内容等を検討していきたい。　（市長）

【質問項目】
▼行政計画の策定　▼（仮称）とやまくすりミュージアム　▼空き家対策
▼認知症対策　▼生活道路の法定速度

富山駅周辺のにぎわい

谷口　寿一（気魄）



問 （仮称）とやまくすりミュージアムの入館者数が見込み数の年１６万人を下回ったこと等により事業者の収支に赤字が出た場合、市が提案金額を超えて支払う可能性はあるのか。

答 要求水準書において、事業者が入館料等を自らの収入として確保した上で、採算性の維持を主体的に行う指定管理者制度の利用料金制を適用していることから、入館者数の実績が予定を下回ったこと等により事業者に赤字が出た場合でも、本市から事業者に対して費用補填（ほてん）を行わない旨を定めている。　（商工労働部長）

【質問項目】
▼富山駅周辺のにぎわい　▼富山の魅力アップ
▼ドライブレコーダーによる道路管理　▼防災行政無線

不登校の子どもの卒業に向けた準備

赤星　ゆかり（日本共産党）



問 不登校の子どもがどのような形で卒業を迎えたいか、一人ひとりに向き合う丁寧な対応が必要と考えるが、見解は。

答 卒業は大きな節目であり、一人ひとりの思いを大切にし丁寧に準備を進めることが重要だと認識している。各学校では、不登校の児童生徒が卒業を迎えるにあたり、事前に本人および保護者の思いや考え、心身や登校の状況をもとに、卒業アルバムに関する希望、卒業に向けた取り組みや行事への参加方法について必要な時期に個別に相談しており、可能な範囲で、本人の状況を踏まえた対応に努めている。　（教育長）

【質問項目】
▼富山大空襲および戦災資料の常設展示施設の整備
▼気候危機に対する危機意識と第３次富山市総合計画（案）
▼不登校の子どもの災害時における避難　▼不登校の子どもの卒業の準備
▼コミュニティバスの安全確保に対する市の責任

いじめの未然防止、早期発見と解消に向けた取り組み

福田　敏彦（未来をつくる）



問 ７年度のいじめの認知件数の結果をどう捉えているのか。また、未然防止、早期発見にどう取り組んでいくのか。

答 日常的な指導や家庭との連携が、小学校での認知件数の減少につながった側面がある一方、中学校ではスマートフォン等の利用拡大や対人関係の複雑化を背景とした課題があると捉えている。そこで、児童生徒の発達段階に合わせ作成したスライド等を活用し小学校入学時から意識を高めていくとともに、情報モラル教育等の充実を図るほか、「ＳＯＳの出し方に関する教育」プログラムに取り組んでいる。（教育長）

【質問項目】
▼富山市の食の魅力を世界に発信する取り組み
▼学校プールにおける教職員の安全対策と施設設備の安全確保
▼いじめの未然防止、早期発見と解消に向けた取り組み



（仮称）とやまくすりミュージアムの整備予定施設
（アーバンプレイス３階、４階）

福岡県議会不正事件

野上　明人（みどり）



問 **本市職員による、本来議員が自ら作成すべき議会質問の原稿作成への関与の有無は。**

答 議会質問は「市民の代表者」である議員自身の固有の権能であり、議員活動の中枢を成すものの一つであると認識している。執行機関は、事実確認や法改正に関すること等、質問しようとする議員からの問い合わせに応じることや、質問と答弁の内容が噛み合わないことのないよう、議員に対して質問の趣旨を確認することはあるものの、議会質問の原稿を作成することはないものと考えている。（財務部長）

【質問項目】
▼福岡県議会不正事件　▼令和８年熊本地震への支援実績
▼消費税の減税等　▼太陽光発電等導入促進補助金

上下水道料金の将来負担とウォーターＰＰＰ

金山　茜（参政党議員会）



問 **１４年度ごろから赤字が見込まれる上下水道事業の財政見通しにウォーターＰＰＰ導入による影響が反映されているのか、また今後の料金改定の可能性は。**

答 ９年度からの１０年間の財政収支見通しの中に、ウォーターＰＰＰの経費も含むものと考えている。今後の料金改定は然るべき時期に必要性等について改めて議論が必要となる。なお、１３年度までは黒字を維持できる見通しであり、少なくともこの間は料金改定の可能性は低いと考えているが、引き続き経営努力を重ねていく。（上下水道事業管理者）

【質問項目】
▼上下水道料金の将来負担とウォーターＰＰＰ
▼女性相談における包括的な支援体制

富山地方鉄道株式会社

大島　満（政策・維新３２）



問 **不二越・上滝線の再構築事業における南富山駅、小杉駅間の新駅の設置は必要なのか。また、その費用対効果は。**

答 同区間は多くの市民が居住し、まだ開発の余地がある農地が存在するため、まちづくりを進める上でポテンシャルの高い地域である。また、新駅の設置はこれまでも沿線地域から要望があり、８月の市長懇談会でも堀川町に新駅を設置して欲しいとの意見をいただいた。よって、同区間での新駅設置は駅の利用圏域を拡大させ、利用者の増加が見込めることから、費用対効果が高いと見込んでいる。（活力都市創造部長）

【質問項目】
▼おわら風の盆の新たな取り組み　▼富山地方鉄道株式会社



不二越・上滝線（開発駅～月岡駅間）を車両が走る様子

決算審査が行われました

９月定例会終了後の閉会期間中に下記の日程で予算決算委員会全体会および各分科会が開催され、決算案件の審査が行われました。

９月３０日	予算決算委員会（前期全体会）
１０月　９日	経済教育分科会
１０月１３日	厚生分科会
１０月１４日	建設分科会
１０月１５日	総務環境分科会
１０月２０日	予算決算委員会（後期全体会）

詳細については、次号（Ｎｏ．９３）に掲載予定です。

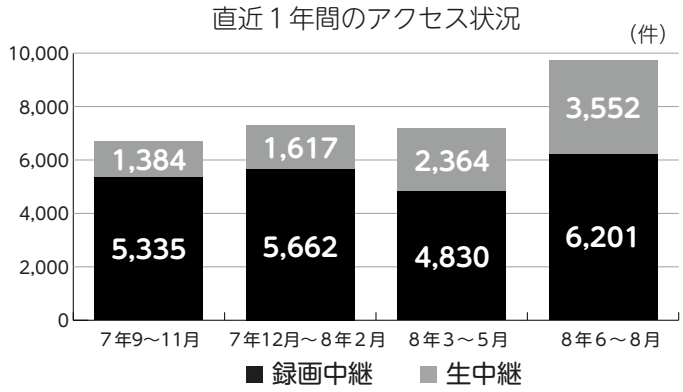
市議会まめ豆知識　決算審査とは

決算審査とは、決算（一会計年度の歳入歳出について、予算とその執行結果の実績とを対比させたもの）について、議会として認定するかどうかを審査することです。

本市議会では、予算決算委員会の各分科会（総務環境、厚生、経済教育、建設）で、予算執行が適正に行われているか、また、その成果が十分に達成されているか等を審査しています。



インターネットでの本会議中継のアクセス状況



グラフは「定例会」開催月から３カ月間を集計したものです。開催した議会日程は下記のとおりです。

７年　９月定例会	９月　４日～　９月２６日
７年１２月定例会	１１月２８日～１２月１８日
８年　３月定例会	２月２７日～　３月２４日
８年　６月定例会	６月１１日～　６月３０日

インターネットでの本会議の生中継および録画中継

インターネットの録画中継は、各本会議終了後、おおむね４日後（土・日および祝日を除く）からご覧いただけます。

なお、編集作業等により公開が遅れることがあります。

ケーブルテレビでの本会議の生放送

本会議の開催日は、ケーブルテレビ富山および上婦負ケーブルテレビで生放送をご覧いただけます。

ただし、上婦負ケーブルテレビでの放送は、都合により、録画放送になる場合があります。

本会議の会議録

本会議の会議録は、富山市議会ホームページでご覧いただけます。

委員会・諸会議の議事録等も、ホームページに掲載しています。

８年９月定例会の会議録は、１１月下旬に掲載する予定です。なお、会議録の冊子は、市立図書館（本館）や市役所東館３階の市政情報コーナーで閲覧することができます。

Ｎｏ．６７（２年１２月定例会号）分からは、とやま市議会だよりのテキストデータ（音声読み上げ対応）版の公開もしています。

次回 12 月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
	11/30 **本会議**（提案理由説明ほか）	12/1	2	3	4 **本会議**（一般質問）	5
6	7 **本会議**（一般質問）	8	9 **本会議**（一般質問）	10 **本会議**（一般質問） **常任委員会**（予算決算）	11 **常任委員会**（経済教育）	12
13	14 **常任委員会**（厚生）	15 **常任委員会**（建設）	16 **常任委員会**（総務環境）	17 **常任委員会**（予算決算）	18	19
20	21 **本会議**（委員長報告・質疑・討論・採決ほか）	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



※最新の日程や傍聴の取り扱いにつきましては、富山市議会ホームページ等でご確認ください。

傍聴の際の注意事項

- 私語や飲食など会議の妨害になることはしないでください。
- 拍手など可否の表明はしないでください。
- 写真の撮影、音声の録音はしないでください。
- 携帯電話端末その他音を発する機器は、音を発しない状態（マナーモード）に設定の上、通話はご遠慮ください。

編集後記

私が委員長に就任して半年がたち、とやま市議会だよりも３度発行することができました。副委員長をはじめ、議会報編集委員から多くの意見を取り入れることで、議員としての活動や本市への思いをこれまで以上に皆さまへお伝えできたのではないかと感じています。今後も委員と連携しながら、議員の活動を分かりやすくお届けしてまいります。



議会報編集委員長
飯山　勝彦

行政視察報告

各委員会では、市政の課題や先進事例の調査を行うために、市内外への行政視察を行っています。
視察後は、今後の質疑や提言等に生かすため、視察の目的や所感等をまとめた報告書を作成しており、インターネット公開および窓口閲覧を行っています。
今号では、９月定例会前までに行った視察についてご紹介します。

◀行政視察報告書について

総務環境委員会

７月６日～７月８日

【埼玉県】
・サーキュラーエコノミー支援事業
「サーキュラーエコノミー推進センター埼玉」
【福島市】
・ごみ減量に関する取り組み
【荒川区】
・荒川区民総幸福度（ＧＡＨ）
【さいたま市】
・公民学共創によるデジタル技術を活用したスマートシティプロジェクト


荒川区での視察の様子


さいたま市での視察の様子

厚生委員会

７月６日～７月８日

【明石市】
・こどもの養育費立替支援事業
・こどもの居場所づくり事業（こども食堂）
【福岡市】
・福岡市認知症フレンドリーセンター
【山口県立総合医療センター】
・へき地医療の取り組み
（Ｄ　ｔｏ　Ｐ　ｗｉｔｈ　Ｎ）


明石市での視察の様子


福岡市認知症フレンドリーセンターでの視察の様子

経済教育委員会

７月１４日～７月１６日

【さいたま市】
・グローバル・スタディ
【千葉市】
・食のブランド「千」
【千葉県】
・ＩＣＴを活用した農林水産業
【らぽっぽ　なめがたファーマーズヴィレッジ】
・廃校を活用した農業の６次産業化


千葉県での視察の様子


らぽっぽ　なめがたファーマーズヴィレッジでの視察の様子

建設委員会

７月１３日～７月１５日

【神戸市】
・渋滞箇所の解消に向けた取り組み
・王子公園の再整備
【藤沢市】
・道路陥没対策
【前橋市】
・前橋版ＭａａＳ（ＭａｅＭａａＳ）


神戸市での視察の様子


藤沢市での視察の様子

次号（No．９３）は２月２０日発行の予定です。なお、２月上旬ごろに、ウェブ速報版を富山市議会ホームページにて公開予定です。

「とやま市議会だより」は環境に配慮し、植物油インキを使用しています。